

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成25年3月14日(2013.3.14)

【公開番号】特開2011-205410(P2011-205410A)
 【公開日】平成23年10月13日(2011.10.13)
 【年通号数】公開・登録公報2011-041
 【出願番号】特願2010-70678(P2010-70678)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 24/02 (2009.01)
 H 0 4 J 11/00 (2006.01)
 H 0 4 W 88/08 (2009.01)
 H 0 4 B 7/04 (2006.01)
 H 0 4 J 1/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 2 4 1
 H 0 4 J 11/00 Z
 H 0 4 Q 7/00 6 6 0
 H 0 4 B 7/04
 H 0 4 J 1/00

【手続補正書】

【提出日】平成25年1月30日(2013.1.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

上りリンクにSC-FDMA方式が適用され、且つ下りリンクにOFDMA方式が適用される無線通信システムで用いられる無線基地局であって、

前記SC-FDMA方式又は前記OFDMA方式の無線信号を受信処理する受信部と、
 前記受信部により得られた受信信号を時間領域から周波数領域に変換するとともに一次復調を行うOFDM復調部と、

前記OFDM復調部により得られたデータシンボルを周波数領域から時間領域に変換するとともに二次復調を行うフレーム処理部と、

前記OFDM復調部によって前記周波数領域に変換された後の信号であって前記フレーム処理部によって前記時間領域に変換される前の信号に対する測定を行う測定部とを備える無線基地局。

【請求項2】

上りリンクにSC-FDMA方式が適用され、且つ下りリンクにOFDMA方式が適用される無線通信システムで用いられる無線基地局の通信制御方法であって、

前記SC-FDMA方式又は前記OFDMA方式の無線信号を受信する受信ステップと、

前記受信ステップにより得られた受信信号を時間領域から周波数領域に変換するとともに一次復調を行うOFDM復調ステップと、

前記OFDM復調ステップにより得られたデータシンボルを周波数領域から時間領域に変換するとともに二次復調を行うフレーム処理ステップと、

前記OFDM復調ステップにおいて前記周波数領域に変換された後の信号であって前記

フレーム処理ステップによって前記時間領域に変換される前の信号に対する測定を行う測定ステップと
を有する通信制御方法。